

# 府立東淀川支援学校



テーマ: 自立活動について

## 概要

知的障がい教育における自立活動の指導力向上をめざし、年間を通してパッケージ支援に取り組みました。はじめに、自立活動に関する基礎的な視点や指導の方向性を校内で共有するため、指導主事による全体研修を実施しました。

その後、小学部・中学部・高等部の1時間めの自立活動の授業を指導主事が計4回見学し、助言を受け、指導の改善を進めました。また、自立活動主任が週4回、全クラスの1時間めを継続的に巡回し、日常的な観察や助言を通して、各担任の実践改善につながる支援を行いました。

さらに、必要に応じて様々なツールを活用し、教員とともに支援方法の整理や検討を進めました。環境調整や構造化、行動の背景理解といった指導内容について、児童生徒の行動や学習の変化と併せて校内で共有することで、学校全体として自立活動の充実を図ることができました。

## 実施

### スケジュール

### Research

6月4日(水) 打合せ

### Vision

7月18日(金) 第1回校内全体研修会

### Plan

8月 全体計画等の検討

### Do

9月8日(月) 見学・協議(小学部)

9月18日(木) 見学・協議(中学部)

9月24日(水) 見学・協議(高等部)

12月3日(水) 見学・協議(高等部)

2月24日(火) 第2回校内全体研修会

### Check & Act

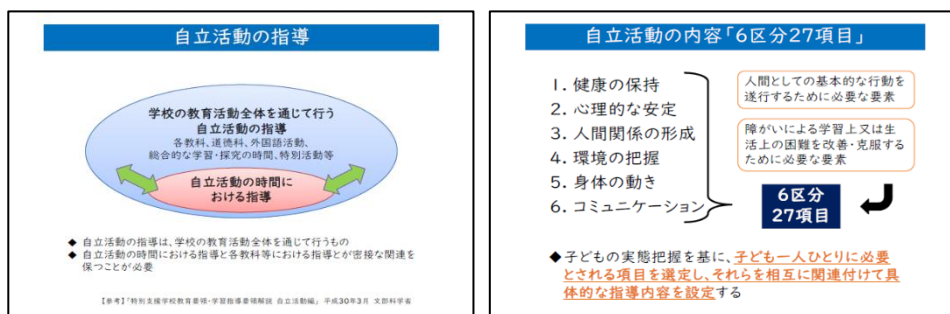
3月2日(月) アンケート集約

## 全体会

### 7月18日(金) 第1回校内全体研修会について

支援教育推進室指導主事より(以下資料より抜粋)

自立活動の基本的な位置づけや「6区分27項目」の考え方について改めて理解を深めることができました。自立活動は特定の時間だけで行うものではなく、学校全体の教育活動を通して児童生徒の学習上・生活上の困難を改善・克服していくための力を育てるものであることを再確認しました。また、構造化や選択・自己決定、振り返りなど児童生徒の主体性を引き出す指導支援の工夫について考えました。全体会を通して、日々の授業や生活場面での自立活動の視点について考えるきっかけとなりました。



授業見学・協議  
(小学部)  
(9月8日)

見学・協議の  
ポイント

教室からの飛び出しが見られる児童の行動課題に対し、「行動の背景を理解する支援」を重視して取り組みました。座位保持用クッションの活用や座席位置の調整など、まず環境整備に重点を置きました。また、教員の関わり方についても、「ほめる場面の再設定」や「関わりの質と頻度の調整」を行い、児童が安心して活動に参加できるよう働きかけました。

授業見学・協議  
(中学部)  
(9月18日)

見学・協議の  
ポイント

こだわりが強く活動の切り替えが難しい生徒について実態を整理したところ、予定の見通しが持てないことが不安の高まりにつながり、結果として適切でない行動が生じていることが分かりました。そこで、自立活動では、「活動を理解できる」と「見通しを持つことができる」をねらいとした指導を行いました。主体的な行動を促すために、個別スケジュールを用いて一日の流れを自ら確認できるようにするとともに、取り外し可能な予定表を使った活動を行いました。また、ワークシステムを活用して課題量や進行順序を自分で把握する練習を取り入れ、安心して学習に取り組める環境を整えました。

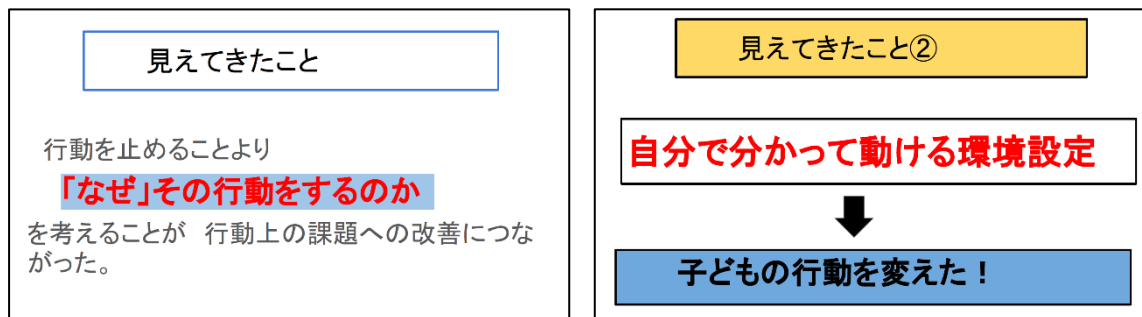
授業見学・協議  
(高等部)  
(9月24日)  
(12月3日)

見学・協議の  
ポイント

個別指導・小集団・全体活動など、多様な形態で自立活動が展開されました。また、「子どもの変化」を積極的に共有する文化が生まれ、学部内で学び合う姿勢が広がったことも大きな成果です。自立活動は教材の形式ではなく、「どの目標に向けて取り組む時間なのか」が重要であることや、卒業時の姿を見据えて逆算したスモールステップの目標設定が必要であることについて確認することができました。

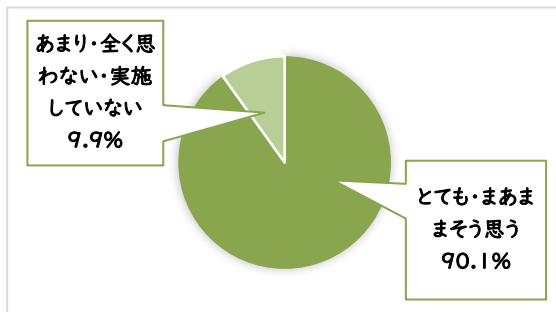
成果

今年度のパッケージ支援を通して、学校全体として「子どもの困りに基づく支援」と「構造化による環境づくり」が3学部共通の成果として確認されました。行動を表面的に止めるのではなく、その背景を分析し、環境を整理した上で支援を工夫することで、児童生徒の行動や学習に取り組む姿が大きく変容しました。また、継続的な取り組みが、教員の気づきを促し、学部内外での共有を活発にし、自立活動への意識を学校全体で高める契機となりました。

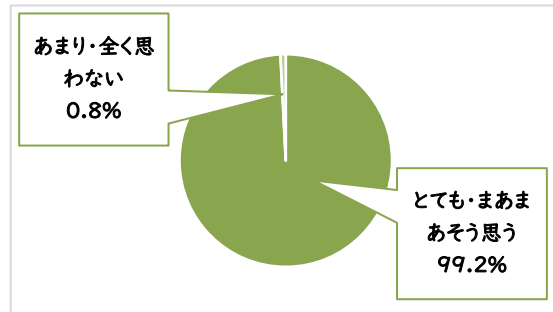


アンケート  
結果

実施前



実施後



(アンケートより)

- ・ 様々な視点からの助言が参考になった。
- ・ 事例や教材等を校内で共有していけるとよいと思った。
- ・ 教科を超えて話し合いができたことは、新しい視点があり、新鮮に感じました。
- ・ 実際に子どもを見てアドバイスをもらえたので参考になった。
- ・ 今後さらに知識や技術を身につけ、自立活動を充実させることができればと思います。